

# 県職労学校支部高校部ニュース

自治労埼玉県職員労働組合  
 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 P-BOX (県庁本庁舎 B1F)  
 TEL: 048-830-7781 FAX: 048-825-7062 常駐します  
 E-mail p-box@atlas.plala.or.jp  
 http://www.saijaku.com/indexsibu.html  
 連絡先: 高校部長・橋田(大宮北埼玉分校)  
 2010 9.21 発行

## 総務事務システム導入 ひどく 実態が明らかになり!!

事務職員は、教員の補助職ではない! 総務事務センターの使い走りでもない!  
 ある程度大変になると予想していたが、ここまでひどいことになるとは言葉もなない!

### 発生源入りはウソ!

導入準備のときは、発生源入り力が格好いいことを言っていた。「本人費出による発生源入りを受け、総務事務センターが認定までぶくぬぐい、個人に押し付けられていた。」「本人費出による発生源入りを受け、総務事務センターから責任もって処理する」と、前年度末の組合交渉の席でも、「教員には、総務事務センターから通知が来ますよ。PCを見てください」と言えど、充分です。」と答えていた。しかし、現実はいくらも違っていた。

### 当局、態度豹変!

「教職員が届出や申請を行った後、総務事務センターの確認や問合せの連絡を(事務職員が)当該教職員に送ったりして聞かせる」「問合せをする教職員に付き添いやりのりの中で、逐次補助をする。」(事務組合代表)「操作者わけがわからないこと、まず、昨年度より事務室に相談に来た。次に職員ポータルQ&Aを見、どうしてもわからなければ最後にヘルプデスクへ電話する。」(操作研修テキスト・補正説明)

### おかしなウソ!

なんかイメージと全然違うシステムになってきた。誰か、本人が入力するシステムで、誰でも簡単に操作できるから、事務の手は煩わせないって話だったのに、教員が入力するときは、事務職員がスタンバイして、ヘルプ1つって言われたらすぐにすっ飛ばして行って助ける!!? 向への問い合わせは、事務職員がそばについてあげない!!? : ちょっと過保護じゃない? 今回の事務の人数でどうやってそんな手厚い支援するんだろ? それに、旅費担当じゃなかったら、事務職員だって旅費入力よくわかんないよ、そういえば、教頭はどこで活躍してくれるんだ??

### 事務職員は使い走り!!?

7月には校長会、8月2日には事務長向けの説明会がもたれた。その中から見えてきたのは、**事務職員は教員の個人PCに侵入し、管理職の機密を覗いながら、せめて教員への説明をし、予備配分の心配までする。** > 本来、教頭や校長が深夜にチェックし、差し戻さなければいけない仕事までやらされる。> という事態だ。全面的に事務職員のアシストが必要だし、いつか続けなければならない。代行入力も本人入力も併用しての話しだが、かえって非効率で混乱を招きそうだ。

## 学校事務の確立・発展を

働いているわけではない。ようやく確立されてきた(学校事務)を、さらに発展させるため頑張っている。私たちが学校事務が、学校運営・経営に欠かせない重要な役割だと考えらるなら、今の人数(ざりざり)だし、現在の分等(支出・管理・放棄)給与等々)を大きく削減するには無理がある。たとえ一階機械化されても、やはり現場の専務職員のコントロール下におく必要がある。

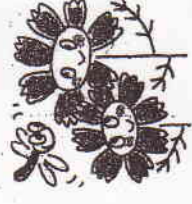
### ふんぞりか!

結局、総務事務センターができて、事務職員は必要ない。でも、ここで疑問! このシステム、相当お金がかかると思うんだけど、どうやって回収するんだろう? 県立学校人事課は財政になんて説明するの? 「定数減らします。給与カットします。」なんて説明されました。またまなんじゃない、現場は、システム維持するのに手回しが必要なら、ちゃんとそれを財政課に言っただけ。そもそも事務職員って何? 私たちって向のために存在してるの? 学校で、生徒のために働いていたはずなのに、システム維持するために現場にいらってるってなんのさ...

## 事務職員の犠牲の上に

今回の改革は、皆が自分だけが生き残ろうとしていた。新しい教育をめざして、総務事務システムを導入した。新しい教育のためという不覚な動機、政治的圧力があって。入札にわけばいい。もともとは、専務職員削減のためには身をさせられていた。そして、システム導入のために、事務職員は総務事務センターの使い走りになり、専務の補助職におとしめられ、さらに管理職のメンツを保つために仕事をさせられている。

## ちょっと勇気を出して、一緒に頑張ろう!!



私たちがいよいよ問題提起して訴えてきたけれど、今回はそんな余裕はなさそうだ。ちょっと勇気を出して、是非、県職労学校支部に合流してほしい。今のところ、組合が当局の暴走をおさえる唯一の手段だ。もし、組合費が半減いれれば、今回のような無謀な計画は潰れた。専務職員の皆さん、組合費を100%として活用・利用してほしい。

学校支部は、政党の指導や、政治的な主張による組合運営とは全く関係ない。「業務・事務・司書」自身による、非教員の組合としてやっていた。一緒に専務事務(業務・司書)の新たな確立、発展を話し合っていく。

## ★要求書提出★

9月10日、学校支部は、次の内容の要求書を提出した。正式な団体交渉で、目一杯頑張るつもりだ。どことどく遠慮なく傍聴に来て下さい。求むる方は表紙までメールでご連絡ください。  
 ① 私たちが、使い走りではない。導入時の主旨にかなう、本人と総務事務センターの責任をわりとる。こと。  
 ② もしそれがないなら、導入計画を見直すこと。  
 交野 9/24 (金) 3:30~場所未定



私たちは、削減されるため、私たちが学校事務を、さらに発展させるため頑張っている。私たちが学校事務が、学校運営・経営に欠かせない重要な役割だと考えらるなら、今の人数(ざりざり)だし、現在の分等(支出・管理・放棄)給与等々)を大きく削減するには無理がある。たとえ一階機械化されても、やはり現場の専務職員のコントロール下におく必要がある。

今回の学校事務にかけられた攻撃は、**く専務事務> 存在の危機だ。** 教育行政を専務現場に合わせて工夫してきたのは、私にだけだ。学校運営に教員と専務と2本柱で学校事務を確立してきた。勘違いしないでほしい。教員のために働いているのではない。ここで後退させるわけにはいかない。